

《どうでもいい話、その 586》

どうでもよくない皆様へ

以前から前歯の上一本がグラつき、だんだんひどくなってきたので歯医者に行って診察してもらったところ「もう抜くしかありません」と言われ抜きました。そして「差し歯かインプラントにしてもらえますか？」と聞いたところ「歯ぐきが弱っているためムリです。入れ歯しかありません」とのことで、入れ歯を作るのに1か月以上かかり、今は前歯が一本抜けた状態です。先日地元小学校へ授業支援のボランティアへ行った時のこと。授業中はマスクをしているので、今までと変わらないのですが、3年生の教室で給食を食べた際、子供たちが私の顔を見て笑っていました。歯抜きの顔は、間抜きの顔になっているのでしょう。そう云えば今の歯は、もう70年近く酷使しています。奥歯は口から入ってくる食物を咀嚼するだけですが、前歯は食物を噛み切る本業の他に若いときは副業もありました。「ゆうべカーちゃんと喧嘩してここを噛みつかれてね」などと険悪な副業もあれば、「ここんどこ噛んじゃうから」「あ、いや、そこダメ、感じちゃうから」なんて楽しい副業もありました。ハハハ！

岩波より